



## はしもと近未来予想図が開催されました

### 市PTA連合会ワークショップの開催

■開催日：2016年 10月15日（土） ■場所：教育文化会館4F（展示室）

#### 「はしぼう」

平成 28 年 10 月 15 日（土）に、橋本市内の PTA 活動に参加されている方を対象に「地域・家庭・学校の連携、そして行政との連携から生まれるまちづくり」について意見をお聞きし、「住んでよかった、住みたくなるまち」を目指し、みなさんのアイデアを持ち寄って、橋本市の未来について意見を出し合いました。

橋本市内の各学校の PTA 活動に参加されている方 30 名の参加で、5 つのグループに分かれてテーマ毎に話し合い、様々な意見・提案が出されました。最後に各班で意見のまとめを発表していただきました。



#### 各グループから出された主な意見

#### 「これからの学校と地域づくりについて」

##### テーマ1 「橋本市の将来像について」

現状と課題、問題園や困っていることはなにか

##### <学校や先生のことについて>

- ・教員不足による指導力、学力の低下
- ・教育改革等進めているが持続していけるかが不安
- ・2学期制の良さがわからない
- ・小学校、中学校の連携や交流が不足
- ・少子化によるクラス数の減少
- ・廃校した学校の新たな活用
- ・ホームページ等でわかりやすく情報を公開する
- ・
- ・

##### [当日の進行]

- ◇開催のあいさつ
- ◇PTA 連合会長あいさつ
- ◇進め方について説明
- ◇グループ討議（班別）

##### 「これからの学校と地域づくりについて」

##### テーマ1

##### ①橋本市の将来像について

「将来こんなまちになるなら、橋本市に住んでみたいと思うことについて」

##### テーマ2

##### ②将来像の実現方法

「そのためには、こんな事をしたらよいと思うことや自分達にもできそうなことについて」

- ・班ごとに意見を出し合う
- ・各班の発表を行い全体で共有する

◇全体のまとめ

現状を少しでも良くするために来年度以降（将来）はこういう姿をめざしたい

- ・子どもに影響のある先生を増やしてもらいたい
- ・習熟度別とか少人数制の対応や工夫をする
- ・中学校のように小学校も副担任がいるようにする
- ・2学期制について学校や教育委員会からの説明を十分にする
- ・他校の教員との体験交換などを通じて情報交換する
- ・国に定められた人数に関係なく柔軟に学校の生徒数に合わせた先生の増員や配置をする
- ・集団登校ができる学校

現状と課題、問題園や困っていることはなにか

### <PTA 活動について>

- ・ PTA に入ってくれる人が少ない
- ・ PTA のつながりが強いので入りにくい
- ・ PTA 役員以外の保護者との交流の場がほとんどない
- ・ 同じ方が PTA 役員をされている

### <遊ぶ場所や放課後の活用について>

- ・ 遊ぶ場所、公園などが少ない
- ・ インターネットの普及により外で遊ばない子が増えている
- ・ 子ども達が勉強する場所や勉強を教えてもらう人がほしい
- ・ 地域の公園などの老朽化

### <その他>

- ・ 地域の治安の悪化
- ・ 地域行事の縮小（子ども会やイベント）
- ・ 地域内の交流減少
- ・ 中学校の統廃合による通学路の再整備

現状を少しでも良くするために来年度以降（将来）はこういう姿をめざしたい

- ・ 地域、保護者同士のつながりを良くする
- ・ PTA 役員をくじ引き等平等に決め、出来るだけ無理がないよう役員の仕事を減らす
- ・ 父親も含め積極的に参加してもらう
- ・ 先生と PTA の関係を良くする

- ・ 親も安心できる子どもが集まれる場所を整備する
- ・ インターネットを活用した学習方法の検討
- ・ 廃校した西部中学校などの跡地の活用（学習の場やスポーツ広場として開放）
- ・ 放課後の学校開放や勉強を教えてくれるボランティアの募集や呼びかけ

- ・ バス停などに地域の見守りの人がいる安心したまち
- ・ 新たなイベントの企画（民間業者を活用した）等



## 「これからの学校と地域づくりについて」

### テーマ2 「橋本市の将来像を実現するためについて」

将来像を実現するために何をすべきか、したら良いとおもうこと

- ・ 学校同士の連携を強化
- ・ 学校と保護者が意見交換等できる環境づくり
- ・ 学校の統合による安全な通学路の整備
- ・ 教育関連の予算を増やす
- ・ 学校と関わるために、保護者が気軽に足を運べるような行事や場所交流ルーム（ボランティアルームをつくる
- ・ 学校での情報交換や情報公開をもっとわかりやすくする
- ・ 先生の負担を減らすなど、教職員の配置や増員について検討する
- ・ 学校側からのボランティアの呼びかけ
- ・ 公民館など高校生が使えるように開放する
- ・ 高校生や大学生によるボランティア協力
- ・ ボランティア活動の内容をわかりやすく
- ・ 子ども達が卒業しても地域の一員として参加ができる行事を増やす

将来像を実現するために自分達（PTA として・個人として）でできそうなこと

<PTA としてできそうなこと>

- ・ PTA 同士の情報交換の場を増やす
- ・ PTA 活動を継続するために地域の方々と連携を強化する
- ・ 他団体など豊富な経験をもった方の講演会などの開催し興味をもってもら
- ・ 地域の声、保護者の声を学校に提供し実現できるよう調整する
- ・ 保育の現状を地域や行政に伝え問題や課題を認識してもら

<個人としてできそうなこと>

- ・ 学校行事への参加と呼びかけを行う
- ・ 保護者達の地域のコミュニケーションの場をつくる
- ・ 通学路の見守りや地域の見守りをする
- ・ 自らが楽しんで楽しさを発信していく

等

